

山口県警察本部と連携して悪質住宅修理業者への注意喚起

～特殊詐欺への注意喚起も付記した啓発マスク 4,000 個を作成して、被害防止を訴える～

日本損害保険協会山口損保会（会長：清水 裕子・あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 山口支店 支店長）は、山口県警察本部と連携して、悪質住宅修理業者および特殊詐欺への注意喚起を付記した啓発マスク 4,000 個を作成しました。

2月28日（水）10時30分から、山口県警察本部で、山口県警察本部生活安全部生活安全企画課・山村 寛文 課長や安井 伸友 安全・安心対策官などが出席して、同マスクの寄贈式が開催され、清水会長から、山村課長に同啓発マスクを寄贈しました。

清水会長から、「自然災害時には、悪質な住宅修理業者とのトラブルが多く発生しています。トラブルに遭わないよう、十分に注意してください」と発言がありました。また、山村課長から、「今年に入り、特殊詐欺の被害は既に1億円を超えており、厳しい状況です。同マスクを用いて、県民の方々にしっかりと広報していきます」と発言がありました。

寄贈式後、商業施設に移動して、同マスクをはじめとした啓発グッズを用いた啓発活動を実施しました。啓発グッズを受け取った買い物客は、「特殊詐欺の被害が大きいことにびっくりした」「悪質な住宅修理業者に気をつけます」などと話していました。

当支部では、行政や関係機関と連携して、引き続き、安全・安心な社会の実現に貢献していきます。



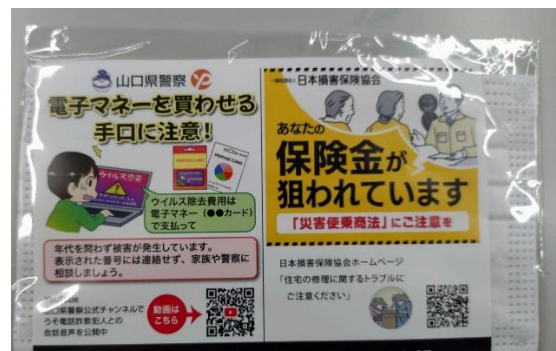
山村課長（左） 清水会長（右）



安井対策官 山村課長 清水会長 山田事務局長



啓発活動の様子



啓発マスク